# 迷子になってしまう(徘徊)…

## ⇒近所の人や自治体の助けも借りましょう

#### 【 認知症の人の状態 】

とよさと病院 認知症疾患医療センター

徘徊には、理由や目的が"あるもの"と"ないもの"があります。理由がないもの、わからないものの場合、そこに山があるから登るように、その人の本能のもとに徘徊していることがあります。いなくなるたびに、家族が探し回ったり、近所の人や警察に捜索を頼むのは大変です。しかし、



「部屋に鍵をかける」「出かけるのを強引に止める」 などの方法は逆効果。余計に外に出たがる ようになったり、別の困った症状が現れたりします。

#### 原因や背景…不安や混乱、恐怖や寂しさなど



★今いる場所、自宅が分からなくなる

★夕方になり買い物に行かなくては、と焦る

※夕暮れ症候群(居場所がない、役割がない)

★何かを探しているなど、目的がある

### 【 対応方法 】

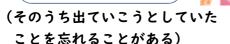
## 「交流と 役割ありて 居場所なり」

①外出をしたがるときは、できるだけ一緒に歩き見守ってあげましょう。

・安全が確保されればできるだけ自由に

しかし、その都度出ていたのでは疲弊してしまいますよね。 そこで、出ていこうとしたところで声をかけ(知恵を使う)

一緒にでかけるから、 これを食べてチョット 待っていてくださいね





舌の肥えたお父さんに 味見をしてほしい

そして、お茶を飲んだら、 夕食等を作る役割を お願いしましょう。 (ほめておだてる)

> 料理の上手なお母さんに 夕食の準備を手伝ってほ しい

参考文献:認知症の人と家族の会,認知症になった家族との暮らしかた,ナツメ社,2018,P96-97

杉山孝博,認知症の9大法則50症状と対応策,法研,2013,P94-95

山口晴保,紙とペンでできる認知症診療術,協同医書出版社,2016,P208-209

2022.6作成

- ②近所の人や交番に事情を説明しておいて、もし一人で外を歩いているのを 見かけたら、連絡してもらうように頼んでおきましょう。
- ③玄関に<u>徘徊防止センサーを設置すると、一人で外出しようとしても、気づくことができます。介護用品取扱店などで購入できます。</u>

夜間にひとりで外へ出てしまうときなど、やむを得ない場合は、徘徊防止用 のカギなどを活用する方法があります。

- ④服の裏側や靴の内側に名札を縫いつけておきましょう。(住所、氏名、電話番号)結婚前ごろの記憶に戻っていることもあるので、旧姓や旧住所も書いておくとよいでしょう。
- ⑤自治体に"徘徊SOSネットワーク"がある場合は、登録してみましょう。 市区町村の高齢福祉課などが行っているサービスで、事前登録が必要です。 徘徊したときに、警察や行政、関連機関、地域の人たちなどが協力して探し てくれます。

他に、"登録番号入り蛍光ステッカー"を導入している市区町村もあります。 高齢福祉課などで登録すると、靴のかかと部分に貼るステッカーがもらえま す。夜でもステッカーが光るため、目に留まりやすく、ステッカーに書かれ ている登録番号から、身元が判明します。

参考文献:認知症の人と家族の会,認知症になった家族との暮らしかた,ナツメ社,2018,P96-97 杉山孝博,認知症の9大法則50症状と対応策,法研,2013,P94-95 山口晴保、紙とペンでできる認知症診療術,協同医書出版社,2016,P208-209 2022.6作成

ケアのコツ…「認知症になっても安心なまちづくり」 の目線は、周りの人が抱える不安に偏りがちです。



当事者である本人にとっては、制度や仕組みよりも、「自分の存在を認めてくれる人がそばにいること」が何よりも大切です。

「○○さん」と名前を呼ばれたり、「おはよう」と声をかけられる—そんな数秒のコミュニケーションだけでも、自分の存在を見てくれている(認めてくれる)人がいると感じられます。そうした人がそばにいてくれることが、根本的な「不安」を解消することにつながるのです。

参考文献:ペホス,"理由を探る"認知症ケア,株式会社メディカル・パブリケーションズ,2014,P27-29



認知症疾患医療センター TEL 029-847-958 I (月)~(水)(金)(土)9:00~16:00